

4/24・25・26



茶の湯の日イベント 開催

本市では、松江に茶の湯文化を広めた松平不昧公の命日、4月24日を「茶の湯の日」に制定しています。

24日には市役所本庁2階東側オープンスペースで市職員が来庁者に向けた「茶の湯文化PRイベント」を開催。また、25・26日にはイオン松江ショッピングセンターで松江菓子協会主催の「こども菓子作り教室」「こども抹茶体験」などが開催され、多くのこどもたちが茶の湯文化に触れました。

ダイアリー

松江まちかど



松江市PRキャラクター おまっちえ

5/17



ウラメシ、スバラシ、天国長屋の世界 連続テレビ小説「ばけばけ」ドラマ館が 市役所内にオープン

「ばけばけ」ドラマ館には、ドラマのヒロイン・松野トキが暮らした長屋を再現したセットのほか、ドラマで使われた本物の衣装や小道具の展示もされています。ぜひ、お越しください。

場 所 市役所本庁1階 多目的スペース

開館時間 9:00~16:30 (平日のみ)

入 場 料 無料

松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。 QRコードを読み取って、空メールを送ってください。



商標について：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

市報 松江 目次

- 02 『松江市生活応援 おまっちえ お買物券』お届けします！
- 04 松江まちかどダイアリー
- 05 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」/まいぶんTIME
- 06 小泉八雲とセツの面白エピソード/シリーズ松江の匠
- 07 さんびる文化センタープラパホール開館40周年 この場所から、また新しい時間へ
- 08 令和7年度（8年3月末現在）予算執行状況のお知らせ
- 09 7月1日～松江城天守、松江歴史館、松江ホール・ランエンヤ伝承館の入館料を改定します/地域に根づく伝統文化継承事業補助金
- 10 梅雨を前に！大雨に備えましょう！
- 11 みんなで防ごう 熱中症！/ペット・動物の亡きがらの受付場所と蛍光管回収ボックスを移転しました
- 12 空き家に関する補助制度
- 13 あなたの大切な住まいを点検しましょう！
- 14 6月23日～29日は「男女共同参画週間」です
- 15 中海・宍道湖・大山圏域市長会通信/歯みがきでからだを健やかに
- 16 子育て・健康・福祉
- 18 受けよう！市のけんしん
- 19 情報ひろば
- 26 でかけてごしない～イベント情報～

松江市長 上定 昭仁の

上を向いていこう

Vol.56



「ばけばけ」が完結しても松江は「バケ」続けます！

小泉八雲の妻・セツが主人公のモデルとなったNHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の放送が、3月末に終了しました。

本市は、ドラマの放送前から市役所内に「小泉八雲・セツのドラマ応援室」を設け、市内の官民学26団体で構成する「小泉八雲・セツのドラマをイカしてバケる松江推進協議会」を組織して、「ばけばけ」をきっかけにした、観光受入環境の整備、誘客プロモーション、イベント開催、商品開発、顕彰などに取り組んできました。

その結果、令和7年の本市観光入込客数は前年比8.9%増の951万人、観光消費額は同3.6%増の622億円となりました。昨年の上期は、大阪・関西万博の影響で、国内の各観光地は軒並み客足が遠のく中、松江の認知度やブランド力は確実に高まっています。

市民のみなさんには、「あげ、そげ、ばけ」のロゴマークの掲出などPRにご協力いただき、ありがとうございます😊

そして、「ばけばけ」の効果を一過性にとどめず持続的なものとすべく、本市は「八雲とセツが出会ったまち」のキャンペーンにさらに力を入れます！その「第一弾」として、5月



カラコロ工房に設置している顔はめパネル（怪談初版本）

「イベント支援補助金」の詳細はこちらから



〈市ホームページ〉

17日（日）には、市役所1階にドラマのセット、衣装、小道具を展示する「ウラメシ、スバラシ、天国長屋の世界（通称：ばけばけドラマ館）」をオープンしました。市役所にドラマ館を設置するのは、全国的にもまれで斬新な取り組みです。また、市民のみなさんに、八雲をテーマとするイベントを企画・開催していただき、本市が最大30万円を支援します（詳しくは、左記のQRコードをご参照ください）。支援対象として採択したイベントは、本市から宣伝・広報しますのでお楽しみに！

ここに生まれ育ったこともたちが、ふるさとに対する誇り・愛着を育めるよう、「八雲とセツが出会ったまち・松江」は、これからも「バケ」てまいります。ご期待ください☆

まいぶんTIME

市内の遺跡や出土品（埋蔵文化財）について紹介します

しははら とうぞく きよかん vol.29 芝原遺跡の豪族居館

福原町にある芝原遺跡では、計画的に配置された8世紀ころの掘立柱建物跡が19棟も確認されました。周辺からは「出雲家」と書かれた墨書土器も出土しており、出雲家との関連性が指摘できます。当地は『出雲国風土記』にある「島根郡家」の推定地であり、芝原遺跡は島根郡司を務めた出雲臣の邸宅であった可能性が考えられます。



〈芝原遺跡の建物跡〉

「郡家」とは現代の町役場みたいな施設のことだね！



小泉八雲とセツの面白エピソード

その9

～八雲とセツのちょっとしたエピソードをご紹介します～

お手伝いは知っていた！八雲が嫌った意外な「もの」

うそつき、弱いものいじめ、フロックコートやワイシャツ、ニューヨーク……セツが語った八雲の嫌いなもの一覧です。一方、夫婦の松江時代を間近で支えたお手伝いの高木ヤオは、ちょっと風変りなものを挙げています。

「一つもっとも先生の嫌いなことは、割木をたいた時の煙でした。そのため炊事は一切割木を用いませんで、すべて木炭を使いました。朝の牛乳を温めますのも勿論炭火で、先生のお目覚め前に温めておきます」（桑原羊次郎『松江に於ける八雲の私生活』）

八雲が毎日入浴したお風呂も木炭で沸かしたといひます。時間がかかったことでしょう。



小泉八雲記念館提供

小泉八雲とセツに関する出前講座の申込受付中。詳しくはこちら▶



市は長年にわたり地域産業の発展に貢献された技能者を表彰しています。

シリーズ「松江の匠」



〈受賞者紹介動画〉



仕事では、誰が見てもきれいな仕上がりは当然としつつ、自分の中でさらに美しく仕上げられるかを常に意識しています。「この仕事に1000点はない。70、80点の先にある満足はお客さまが決めるもの」と語り、より高みをめざして技を磨き続けています。現在は母校で講師も務め、若い世代の指導にも力を注いでいます。「失敗を恐れず挑戦してほしい」と語る匠。これからも、後継者育成にさらに力を入れ、造園技術と魅力を次世代へ伝えていきます。



〈松江の匠 HP〉



これからも挑戦を続けていきたくて静かに語ってくれました。



現在は、アフリカの民藝や古代出雲の土器・須恵器から着想を得た、「アフリカシリーズ」に取り組み、土の温もりを感じ作品を作り続けています。試行錯誤を重ねる中で作品に共感する人が増え、展示会では楽しみに訪れるファンが存在が励みになっています。「ものづくりはまだ奥深い」と語る匠。だからこそ、より高みをめざし、

松江農林高校の造園土木科（現：環境土木科）で学んだことをきっかけに、造園の道へ進んだ匠。駆け出しの頃、仕事先のお客さまに初めて名前を覚えてもらえたことが、今でも心に残っているといひます。「一人前として認められたようで、とてもうれしかった」と当時を振り返ります。先輩の仕事の間近で見ながら技術を学び、経験を重ねる中で、少しずつ腕を磨いてきました。

大学で美術を学び、卒業後は高校や養護学校で美術教師を務めた匠。その後、「ものづくりで生きていきたい」という思いから陶芸の道へ進みました。来待ストーン陶芸館の講師を経て、平成23年に古民家を改修した「いまみや工房」を開業。赤瓦の屋根と広い空間を持つ工房は、夢が広がる理想の場所だと語ります。この工房では定期的に陶芸教室を開き、幅広い年代の人に陶芸の楽しさや魅力を伝えていきます。

推薦団体：松江造園協同組合

有限会社永野造園（外中原町）

（功労賞 受賞）

宅和 英治 No. 3

推薦団体：島根県陶器振興会

いまみや工房（東出雲町今邑）

（奨励賞 受賞）

三島 耕二 No. 4